

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム あんずの郷

作成日: 平成 30 年 10 月 16 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議を定期的で開催しているが、内容が画一化し、報告が主となっている。新しい参加委員を募り、会議の内容や議題を再検討し、ホームの発展と共に、地域貢献や認知症の啓発に繋がるような会議運営を目指していく。	参加委員を増員し、地域で活動している有識者、知見者、他事業所の管理者等の参加を募り、ミニ勉強会や避難訓練、試食会、レクリエーションの体験等、内容を工夫し、参加委員にとっても有意義な会議の場となるように取り組んでいく。また、家族の参加を要請していく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	ベテラン職員と若手の職員との介護力に差があるので、同じサービスの提供が出来るよう、職員一人ひとりの知識や介護技術の向上を図り、利用者の満足に繋げていく。	これからのグループホームを考えていく中で、若手職員の確保と育成に取り組み、外部、内部の研修会への参加や資格取得を奨励し、質の向上と意識の高揚を図っていく。	12ヶ月
3	35	災害対策	夜間、夜勤者2人で2階と3階の利用者18名を安全に一時避難場所に避難できる体制を図るための夜間想定訓練を実施していく。	非常時に備えて、近隣住民の協力体制を確立し、夜勤者が自信を持って夜勤が出来るように、避難訓練を繰り返し実施して、5分を目標に全員を誘導出来るように取り組んでいく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。